

# 変わりゆく世界。 突然現れる未来。



いま、人工知能(AI)の進化・応用が、さまざまな分野に突然の変化をもたらしています。その変化の量・大きさは時代とともにどんどん大きくなっています。

今年3月、人工知能が囲碁の世界トップ棋士に勝ったことがメディアをにぎわせました。囲碁は一回の対戦で考えられる局面の数が10の360乗もあると言われ、チェスや将棋に比べても圧倒的に多いので、囲碁で人工知能が人間に勝つのはまだ10年も先だと言われていました。今回、大量のデータをもとにする技術、コンピュータが自分で状況を判断していく仕組みを使ったことで、10年間という時間、一つの時代が、一気に短縮され……。テクノロジーの進化は、何かをきっかけに、何十年という時間をジャンプアップしてしまうことができる。いきなり現実化する。この囲碁の話は、予測可能な未来(そのうちできるはず)への到達時間が短縮された事例の一つ。ニュースなできごとは、今後増加し、短縮するスピードはますます加速していくでしょう。さらに、「最先端のその先」も現れてくるでしょう。

「ジャンプアップ」——共有されている時間を引き寄せる、つなぐ。では、人間の価値はコンピュータのように時間をジャンプアップすることなののでしょうか?——「問題が解ける。処理できる。」にばかり目を向けていると、コンピュータ的

な価値観、その土俵に引きずり込まれてしまう。

10~20年後、日本の約半数の労働者は、人工知能やロボットに職を奪われる可能性があるという推計があります。そんな未来で、いま以上に人間が輝いているとすれば、「いまはまだない職業」が輝いているとも言えるでしょう。それは、人間と人間がつながって、つくっている仕事の輝き。

そのための学び——は?

Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Act(改善)の4段階を繰り返す、いわゆるPDCAサイクル型の学びの範囲は、縮小の一途でしょう。だって、「目標」が想定できないのですから、いつのまにか計画は、計画のための計画になってしまう。PDCAで可能な仕事は、コンピュータが取って代わるのですから。だからこそ、PDCAを使わない、人間的なアプローチをいくつでも身につけていく必要があると思うのです。

変わりゆく世界。過去やいまの延長線上ではない、いきなり出現する未来。予想できる20世紀型の先ではなく、予想できない22世紀という漠然とした未来に本気になって向き合う学び。21世紀のいま、どう学びますか。

日能研は、真剣に考えています。さあ未来への入り口は、このテストから。

未来をつくる学びは、このテストから

## 日能研全国テスト 参加無料

6月12日 小3 小4 小5 6月19日 小2

[科目] 3科目(国語・算数・総合) または 2科目(国語・算数)  
[時間] 1回目9:00集合 / 2回目13:00集合 [会場] お近くの日能研各校

保護者会 同時開催 **いま、中学受験を考えるからこそできる未来への準備**  
まだ早い? もう遅い? 日能研が考える子どもの学び へ? 我が子の未来?

夏期講習 小3 小4 小5 小6 **7/21 日能研各校でスタート!** **お申し込み好評受付中**  
◆日能研各校で設置コース・日程・時間が異なります。詳しくは「日能研」検索、またはお近くの日能研へ!

夏期講習のお申し込みはお近くの日能研各校までお電話で。



6月、始める、日能研。

〈日能研全国テスト〉の詳細やお申し込みは

「日能研」検索

またはお近くの日能研へ!  
※学校行事などで都合がつかない場合は、どうぞお気軽にご相談ください。別日程のご案内が可能です。

お近くの日能研のご案内はこちら

☎0120-666-242

または「日能研」検索